

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和8年1月13日

協議会名: 湖南省地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
滋賀バス株式会社	下田線・三雲駅ルート 三雲駅～竜王ダイハツ	コミュニティバス利用促進のため、高齢者の無料乗車券や夏休み無料体験キャンペーンなどを市広報誌へ掲載し、周知を図った。	A 事業を計画に位置付けたとおり、適切に実施した。	B 【目標】収支率を前年度比1%向上 【実績】R6→R7 前年度比11.7%減	引き続き、事業者や行政機関等が連携し、利用促進施策やモビリティ・マネジメント教育に向けた啓発活動等に取り組んでいく。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和8年1月13日

協議会名: 湖南省地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
滋賀バス株式会社	下田線・三雲駅ルート、下田線・甲西駅ルート、ひばりヶ丘線、妙感寺ルート、三雲線・東庁舎ルート	コミュニティバス利用促進のため、高齢者の無料乗車券や夏休み無料体験キャンペーンなどを市広報誌へ掲載し、周知を図った。	A 事業を計画に位置付けたとおり、適切に実施した。	B 【目標】収支率を前年度比1%向上 【実績】R6→R7 前年度比11.7%減	引き続き、事業者や行政機関等が連携し、利用促進施策やモビリティ・マネジメント教育に向けた啓発活動等に取り組んでいく。
			A 事業を計画に位置付けたとおり、適切に実施した。	B 【目標】利用者数を前年度比1%向上 【実績】R6→R7 前年度比0.2%向上	引き続き、事業者や行政機関等が連携し、利用促進施策やモビリティ・マネジメント教育に向けた啓発活動等に取り組んでいく。
			A 事業を計画に位置付けたとおり、適切に実施した。	B 【目標】行政負担額は前年度と同等の費用負担を補償する。 【実績】物価高騰や働き方改革等を考慮し、必要額を補償した。	引き続き、事業者や行政機関等が連携し、利用促進施策やモビリティ・マネジメント教育に向けた啓発活動等に取り組んでいく。

事業実施と地域公共交通計画との関連について

令和8年1月13日

協議会名：	湖南省地域公共交通会議
評価対象事業名：	地域間幹線系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>湖南省は滋賀県南部に位置し、人口5.4万人、高齢化率26.5 %で、ここ数年来は高齢化率が上がり、人口は緩やかに減少傾向にあります。</p> <p>大阪、名古屋から100km圏内にあり、名神高速道路の栗東インターチェンジ、竜王インターチェンジ等を活用して県下有数の工業団地が立地する工業のまちとして、大阪方面や甲賀方面等との広域連絡を支える JR 草津線を基幹的な地域公共交通として、市内の 3 駅にバス等が接続する形態を基本的なネットワークの骨格構造としています。</p> <p>その中で、隣町へ通じる唯一の地域間幹線系統であるコミュニティバス下田線・三雲駅ルートは駅や近隣工業団地と各地域を結ぶ主要な交通手段として、必要不可欠な交通として機能しています。</p> <p>地域公共交通は、通勤・通学をはじめとする人の移動の根幹として重要度が増しています。一方で、利用者数は少子高齢化により徐々に減少傾向にあるほか、コロナ禍以前に戻っていないことから草津線の減便が実施されるなど、利便性に大きな影響を及ぼしています。</p> <p>湖南省がまちの将来像として定める「ずっとここに暮らしたい！ みんなで創ろう きらめき湖南」の実現に向け、「だれもが安心して暮らせるまち」を支える地域公共交通を維持・確保するため、地域公共交通の維持確保改善について、地域、交通事業者、行政等の関係者みんなで連携・役割分担した持続可能な体制を構築するため進めているところです。</p>

事業実施と地域公共交通計画との関連について

令和8年1月13日

協議会名：	湖南省地域公共交通会議
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>湖南省は滋賀県南部に位置し、人口5.4万人、高齢化率26.5 %で、ここ数年来は高齢化率が上がり、人口は緩やかに減少傾向にあります。</p> <p>大阪、名古屋から100km圏内にあり、名神高速道路の栗東インターチェンジ、竜王インターチェンジ等を活用して県下有数の工業団地が立地する工業のまちとして、大阪方面や甲賀方面等との広域連絡を支える JR 草津線を基幹的な地域公共交通として、市内の 3 駅にバス等が接続する形態を基本的なネットワークの骨格構造としています。</p> <p>その中で、隣町へ通じる唯一の地域間幹線系統であるコミュニティバス下田線・三雲駅ルートに通じるコミュニティバス路線の下田線・三雲駅ルート、下田線・甲西駅ルート、ひばりヶ丘線、妙感寺ルート、三雲線・東庁舎ルートが支線の役割を果たし、必要不可欠な交通として機能しています。</p> <p>地域公共交通は、通勤・通学をはじめとする人の移動の根幹として重要度が増しています。一方で、利用者数は少子高齢化により徐々に減少傾向にあるほか、コロナ禍以前に戻っていないことから草津線の減便が実施されるなど、利便性に大きな影響を及ぼしています。</p> <p>湖南省がまちの将来像として定める「ずっとここに暮らしたい！ みんなで創ろう きらめき湖南」の実現に向け、「だれもが安心して暮らせるまち」を支える地域公共交通を維持・確保するため、地域公共交通の維持確保改善について、地域、交通事業者、行政等の関係者みんなで連携・役割分担した持続可能な体制を構築するため進めているところです。</p>